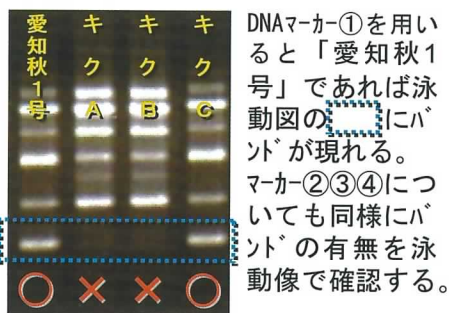




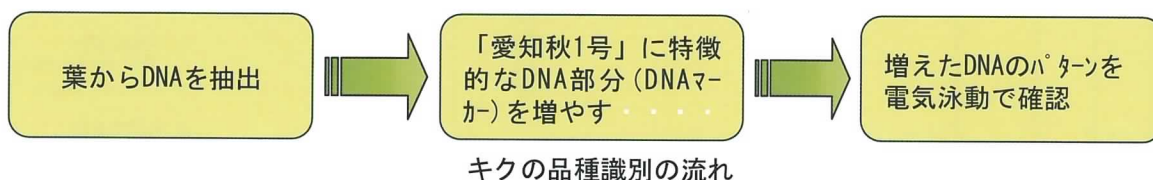
「愛知秋1号」  
2006年タイ国際園芸博覧会 金賞受賞品種



DNAマーカー①の電気泳動像

DNAマーカー	愛知秋1号	検査対象品種・系統		
		キクA	キクB	キクC
①	○	×	×	○
②	×	○	○	×
③	○	○	×	○
④	○	○	○	○

○：泳動図にバンドあり ×：バンドなし  
識別：①～④までのマーカーによる検査結果が一致するので「キクC」は「愛知秋1号」と判定できる。



## 葉、一枚で「愛知秋1号」の品種識別ができます

愛知県が育成した白一輪ギク「愛知秋1号」を、DNAレベルで他の品種・系統と識別する技術を開発しました。この技術は、品種・系統間でDNAにあるわずかな違い(DNAマーカー)を増やす手法(PCR法)を用います。検査対象のキクの葉や花びらからDNAを抽出し、「愛知秋1号」に最も特徴的な4つのDNAマーカー

をPCR法で増幅して、検査対象の差異を電気泳動像で判別することにより見分けることができます。

この技術により、優れた形質を持つ本品種を、無許可栽培や苗の不正流通などから確実に守り、愛知県のブランド品種として育てられるようになります。

(環境基盤研究部)



■「愛知秋1号」は2008年10月16日に「白粋<sup>ハクスイ</sup>」として品種登録されました。■